

第1413回 京都市教育委員会会議 会議録

1 日 時 令和元年7月4日 木曜日
開会 10時00分 閉会 10時30分

2 場 所 教育委員室

3 出席者 教 育 長 在田 正秀
委 員 奥野 史子
委 員 星川 茂一
委 員 高乗 秀明
委 員 笹岡 隆甫
委 員 野口 範子

4 欠席者 なし

5 傍聴者 5人

6 議事の概要

(1) 開会

10時00分、教育長が開会を宣告。

(2) 前会会議録の承認

第1412回京都市教育委員会会議の会議録について、教育長及び全委員の承認が得られた。

(3) 議事の概要

ア 議事

報告1件

イ 報告事項

報告 小学校教科書採択事務に係る教科書展示会の現況等について

(事務局説明 関 学校指導課担当課長)

小学校及び義務教育学校（前期課程）で使用する教科書の採択に関し、現時点での進捗状況や教科書展示会の状況等について報告させていただく。

まず、これまでの経過について説明する。5月9日、教科書採択にかかる基本方針及び選定の観点について議決をいただいた後、5月20日に第1回教科書選定委員会を開

催した。教育長からの諮問により、教科書採択の基本方針及び選定の観点を選定委員全員で確認した。現在、選定委員会内に設置する調査研究部会において、基本方針及び選定の観点を踏まえ、各教科書の調査・研究が進められている。本日は、現時点の進捗状況を報告させていただく。

まず、教科書展示会の状況についてである。本市では、法定の開催期間を拡大し、また、市内全域計11箇所において教科書展示会を開催した。7月3日で全日程が終了したところである。7月1日時点において、閲覧者は179人、意見書は52件である。前回の教科書採択時よりも閲覧者数は上回っており、また、確認できる閲覧者数は名簿に記名をいただいた方のみ的人数であるため、実際の来場者数は、さらに多いものと見込まれる。資料には、頂戴した意見書を原文のまま転記している。特に、国語科、社会科、外国語科、特別の教科 道徳に関する意見が多かった。今回初めての教科書採択となる外国語科に関しては、児童にとって学習内容が高度な印象であること等の御意見が比較的多くあった。また、社会科については記述内容、音楽科については写真や紙面体裁による演奏のイメージのしやすさ、道徳については教材内容等に関する御意見を頂戴した。その他には、教科書の重さやQRコードへの御意見などもあった。

続いて、市民団体等からの要望書等について、現時点までに寄せられた要望書は2通である。いずれも採択方法等の公平性・公正性や選定過程の公開、教職員の意見の反映等を要望されている。本市においては、教育委員会会議での協議内容や資料等のホームページ等での公開、教科書展示会の実施期間・場所の拡大実施等とともに、教科書選定委員会には地元大学教授や企業関係者、保護者代表の外部委員に加え、日々学校現場で授業や教材開発等を行っている100名を超える教員が参画するなど、開かれた教科書採択を進めているところである。引き続き、市民意見や要望書等も踏まえ、教員の意見を大切にしつつ、公正かつ公平な採択事務を進めていく。なお頂戴した御意見等は、教科書選定委員会と共有し、調査研究の中で活用するとともに、教育委員会での審議等に当たっても参考資料として取り扱っていく。

次に教科書選定委員会の概要を報告する。第1回教科書選定委員会では、教育長からの諮問に続き、事務局から調査研究の業務内容や公正確保等について説明を行い、正副委員長を選出した。全体会後は、各調査研究部会に分かれて調査研究用の教科書を配布し、調査研究を開始した。

第2回教科書選定委員会では、各教科の部会長及び指導主事から、調査研究を進めている視点や、実際に教科書を示しながら各教科書の特徴について説明した後、外部委員に議論いただき、多くの御意見を頂戴した。特に、外国語教育と教員の指導力向上に関すること、算数科・理科におけるプログラミング教育、ユニバーサルデザインに関すること等について、御意見を頂戴した。

以上がこれまでの経過と現在の状況である。引き続き、各教科書について慎重に調査・研究を進めていく。

(委員からの主な意見)

- 【奥野委員】 教科書に掲載のQRコード等について、閲覧するためには端末等が必要であるが、家庭によっては端末を持たれていない場合もあると思う。活用についてどのように考えているか。
- 【事務局】 QRコードについて、授業では各校のICT環境を踏まえ、必要に応じて活用することとなる。家庭学習については、各家庭の事情が異なるため、配慮が必要となることを学校現場への周知の際に留意していく。
- 【笹岡委員】 外国語科の学習にあたっては、ICTが効果的であると思うがいかがか。
- 【事務局】 小学校外国語教育は音声中心の学習であるため、現在は教材に付属の音声教材を活用している。また、授業者（担任等）とALT（外国語指導助手）とのやりとりなどを事前に録画し、各教室に配備の電子黒板で映像を流すなど、ICTを活用した授業も展開している。
- 【野口委員】 大学ではeラーニングなどがあるが、小・中学校でeラーニングはどのように捉えられているか。音声教材やALT等の活用など、ネイティブな発音をインプットできる環境が必要ではないか。
- 【事務局】 今後、教科書に対応した音声教材の活用とともに、ALTの計画的な増員も進めてまいりたい。一方で、新学習指導要領が目指す「主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」に向け、学級担任が不慣れな英語を使って何とか思いや考えを相手に伝えようとする姿勢を児童に見せるということも大切にしていきたい。
- 【在田教育長】 教科書採択事務について、今後はどのようなスケジュールとなるのか。
- 【事務局】 各教科とも調査研究が充実してきており、教科書選定委員会からの答申提出を7月中旬頃に予定している。引き続き、教育委員会にも御報告しながら、8月上旬には、議案を上程させていただく予定としている。

(4) その他

○教育長から、前会会議以降の主な出来事等について報告

- 6月14日 京都市立高倉小学校開校25周年・番組小学校150周年事業
- 6月15日 京都市立呉竹総合支援学校創立60周年記念式典及び
京都市立檜原小学校創立50周年記念式典
- 6月23日 京都市・乙訓地域公立高等学校合同説明会
- 6月30日 ゴールデン・スポーツイヤーズ元年・国際博物館会議（ICOM）京都
大会開催記念 ドラマ「いだてん」トークツアー&「ワールドマ
スターズゲームズ2021 関西」等PRイベント

○事務局から当面の日程について説明

(5) 閉会

10時30分、教育長が閉会を宣告。

署名 教育長